



たんぽぽ組だより6月号

令和3年6月18日 ニトリ保育園 担当:鈴木(優)

紫陽花がきれいに色づく季節となりました。

戶外遊びでは虫探しに夢中な子が多く、先日も虫義の行列を見つけ、「どこに行くのかな」「お散歩」と観察していました。虫義が花の上を通ると「ゴほん」と声を掛けたり、「おいしいのかな」と花を可見き込み、笑顔で会話を楽しんでいました。

そしてポツポツと雨が...。「お部屋に帰ろう」と言う保育者の声を聞きながら、落ち葉を拾いに行く子がいました。「どうしたのかな?」と様子を見ていると虫義の上にとっと被せてあげて、満足そうな笑顔が見られました。「雨に濡れないように」という思いに心が温かくなりました。

また最近、嬉しいときや、思いが伝わらないときに「キャー」や「キーッ」という甲高い声を出す子が目いたため、その都度「嬉しいね」「楽しみだね」と代弁したり、「キーは耳が痛いから優しい気持ちになってお話しして欲しいね」と働き掛けています。すると、午睡明けに大きな声で泣きながら寂しさを訴えていた子が「優しい気持ち、キャーはお耳痛いんだよね。バスに乗ってママのところに行こう。」と自分から長づいてくれました。それを傍で聞いていた子も「気持ちは優しいだね。」とニコリ。保育者の思いが伝わりこぼれで表現してくれたことがとても嬉しかったです。

これからもクラスに“優しい気持ち”が広がるよう、働き掛けていきたいです。



お願い

チュニックやスカッツなど
裾の長い洋服は思おぬ
怪我をする可能性があるので
ご遠慮ください。

